

組 番 名前 ()

注意

- ・ この予想問題には教科書が必要です。ご自身で準備してください。
- ・ 解答は問題の指示通りに答えなさい。
- ・ 薄い字、小さすぎる字、読めない字は採点対象になりません。
- ・ 漢字で習った語句は漢字で答えること。
- ・ 文字数を数えるとき、「ゝ」「。」「かぎかっこ（ ） 拗音（ゃ」「っ」等）も数に含めます。
- ・ 問題を声に出して読むではいけません。
- ・ 「以下」と指定された記述問題は、指定文字数の八割以上書くことを推奨します。
- ・ これらの予想問題が実際の試験で出題されるかどうかは保証できません。
- ・ 本番を出来る限り模して、悪問を多く揃えています。最後までめげずに挑戦しましょう。
- ・ 友達と一緒に解いていただいてもかまいません。
- ・ 質問、苦情等がございましたら、作成委員にお知らせください。

問一 漢字に関する次の問題について答えなさい。

1 次の傍線の漢字を平仮名に直しなさい。

(送り仮名も書くこと)

- ① 綻びが生じる。
- ② 英虞湾では真珠が取れる。
- ③ 呉越同舟して与党を倒す。
- ④ この句の掛詞は「ながめ」だ。
- ⑤ 減反政策が廃止された。
- ⑥ 帝に侍るまでのし上がる。
- ⑦ 負債を抱える。

2 次の傍線のカタカナを漢字に直しなさい。

(送り仮名も書くこと)(知各一点)

- ① 質素ケンヤクに努める。
- ② トウカイドウチュウヒザクリゲは面白い。
- ③ ハンバツ政治が行われていた。
- ④ コヨイの月は綺麗だ。
- ⑤ ナイセイフカンショウの原則を持つ。
- ⑥ タンヤして日本刀を作る。
- ⑦ 科学技術のイキを集める。

問二 文法に関する次の各問いに答えなさい。

1 次の傍線の助詞の種類を後から選り記号で答えなさい。

- ア 格助詞
- イ 副助詞
- ウ 接続助詞
- エ 終助詞

- (1) これはひまわりの種かしら。
- (2) 廊下を走らないでください。
- (3) 木の実を拾って山を下りました。
- (4) これくらい余裕をもって出れば遅れないだろう。

2 次の傍線の助詞が後のどの助詞と同じ働きをしているか記号で答えなさい。

- ア ても
- イ なり
- ウ のに
- エ で
- オ つつ
- カ し

- (1) 素直になればよいものを意地を張っている。
- (2) ニュースを見ることによって世の中がよくわかる。
- (3) 考え事をしながら歩いていた。
- (4) サッカーも得意だけれどもテニスも得意だ。

3 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

私の趣味は読書だ。本からは多くの知識を得①られるし、豊かな想像力を育むこともできるだろ②う。そして何より、本を読むことは純粋に楽しい③である。

- (1) 傍線①②の助動詞の意味を書きなさい。
- (2) 傍線③と同じ品詞の語が使われている文を記号で答えなさい。

ア とても立派で素晴らしい人だ。
イ 教室でおしゃべりするのは楽しい。
ウ 今日は日曜日で明日は月曜日だ。
エ 元気そうで何よりだ。

問三 「学びて時に之を習ふ」「論語」から「読み次の問いに答えなさい。

1 次の漢文の訓読文を書き下し文に書き直しなさい。

- (1) 勿^{カレ}下^ニ以^テ善^ノ小^一而^{ナラ}不^上レ^ル為^サ。
- (2) 百聞^ハ不^レ如^ニ一見^ニ。
- (3) 知^ニ我^ノ之^不レ^ル遇^ニ明君^一。

2 (教科書は説明文のみ読んで答えること、P38 参照) 以下の問いに答えなさい。

〈訓読文〉

子曰^{ハク}、「学^{ビテ}而^{シテ}時^ニ習^レフ之^ヲ、①

不^ニ亦^一説^ハバシカラ^乎。

有^リ下^ニ朋^③ニ自^ニ遠^ニ方^一来^{タル}上^ル、

不^ニ亦^一楽^シシカラ^乎。

人^不レ^{シテ}知^ラ而^{シテ}不^レ愠^ミ、

不^ニ亦^一君子^{ナラ}乎[。]」

〈書き下し文〉

子曰はく、「学びて時に之を習ふ、亦説はしからずや。」

朋遠方より来たるあり、亦樂しからずや。

人知らずして慍みず、亦君子ならずや。」と。

〈訓読文〉

子曰「^{ハク}、「温^{ネテ}レ故^{キラ}而^レ知^{レバ}新^{シキラ}」

可^{ベシ}以^テ為^{レル}師^シ矣。」

〈書き下し文〉

子曰はく、「④、以て師たるべし。」と。

〈訓読文〉

子曰「^{ハク}、「学^{ビテ}而不^{レバ}思^ワ則^チ罔^シ」

思^{ヒテ}而不^{レバ}学^バ則^チ殆^シ。」

〈書き下し文〉

子曰はく、「学びて思はざれば則ち罔し。」

思ひて学ばざれば則ち殆し。」と。⑤

〈訓読文〉

子曰「^ク、「非^{ズシテ}其^ノ鬼^ニ而^レ祭^ル之^ヲ、詔^イ也」

見^テ義^ヲ不^レル^ハ為^サ、無^キ勇^也也。」

〈書き下し文〉

子曰はく、「其の鬼⑥に非ずして之を祭るは詔なり。」

義を見て為さざるは、勇無きなり。」と。

(1) 論語とは、どのようなものか。人物、時代を明記して書きなさい。

(2) 以上4つの訓読文全てに欠けている文字を、適切な形で付加しなさい。

(3) 傍線部②のような字をなんとするか。またこれの役割を4字で答えなさい。

(4) 傍線部①について、この文の意味をア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 予め予習をしてから勉学に励むこと。

イ 学習したことを機会がある度に復習し体得すること。

ウ 学習するうちに自ずと理解を深めること。

エ 学習して機会がある度に教えること。

(5) 傍線部③について、「朋」とはこの場合どのような人のことを指すか。

ア ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 共に学問を究めんとする友。

イ 学問の教鞭をとってくれる師。

ウ 同じ環境下で学問に励む友。

エ 幼き頃から親しんできた知己。

(6) 空欄④について、以下の問いに答えなさい。

① この論語を四字熟語にしない。

② 空欄に入る文を訓読文を参考に、全て平仮名で書きなさい。

(7) 傍線部⑤について、「子」はどう行動するのが君子だと説いていますか。

傍線部を参考に35字以下で答えなさい。

(8) 傍線部⑥は、「祖先」という意味である。これも踏まえ以下の問いに答えなさい。

① この論語は、どのような者に対する批判か。

「者。」に続くように2字で書き抜きなさい。

② 論語には「五常」という大切な考え方があり。

ではこの論語が含むそれは何か。1字を書き抜きなさい。

(9) 「子」は、約三千人の弟子を持つほどの人徳者と知られています。なぜそれほどまでに慕われていたのか、以下の条件に従い書きなさい。

・ 第一段落は智の視点から、それに触れた論語を要約すること。

・ 第二段落は義の視点から、それに触れた論語を要約すること。

・ 第三段落は以上を踏まえた、孔子の生き方をまとめて書くこと。

・ 以上の三段落構成とすること。

・ 150字以上200字以下で答えること。

問四 「作られた『物語』を超えて」を読み、あとの問いに答えなさい。(教科書必須)

(本文省略)本文は教科書のP16～P25を読みなさい。

(1)本文中の物語とはどのようなものを指すのか。

本文中の言葉を使って考えて書きなさい。

(2)「格好の例」とあるが、何を指すか「〜こと。」に繋がるように書き抜きなさい。

(3)「襲われる恐怖に…撃ち殺したのである。」とあるが、

最初にターゲットになったと考えられるのはどんなゴリラか。書き抜きなさい。

(4)「キング・コング」という映画もできたというが、

それと対になる筆者の価値観を24字で抜き出しなさい。

(5)「ドラミング」の役割の例を二つ答えなさい。

(6)ゴリラの話を経て筆者が伝えたかったことを、

人間の「本質」をベースに34字で書き抜きなさい。

(7)「…人間の社会にも悲劇をもたらす。」とあるが、

その原因を同じ段落から「〜から。」に続くように書き抜きなさい。

(8)「新しい世界と出会うための鍵」について、後の問いに答えなさい。

①これを手にしたことで起こったゴリラに関する事例を13字で答えなさい。

②貴方自身が手に入れるためにできる具体的な事例を一つ答えなさい。

問五 「握手」を読み、あとの問いに答えなさい。(教科書必須)

(本文省略)本文は教科書のP16～P25を読みなさい。

(1)この小説の作者を答えなさい。

(2)「桜の花は…」とあるが、これと対になる文を探し出し、

最初の五字を書きなさい。

(3)「べからず集」について、「子供の考え出したものである」とあるが、

これに対応する語句を六字で書き抜きなさい。

(4)私は「風呂敷包みを抱えて」園長室へ入っていったとあるが、

この包みに詰まったものを抽象的に10字で書き抜きなさい。

(5)「ケベック郊外の農場の五男坊」について次の問いに答えなさい。

①これは誰のことか。

②私にとってこの呼称を象徴する人体の部位を漢字一字に変換し答えなさい。

(6)「交換船の中止にしても国際法無視ですし」とあるが、なぜ無視したのか。

次のア～エから一つ考えて選び、記号で答えなさい。

ア 日加の交渉が決裂し、カナダが日本人を帰国させなかったため。

イ 戦況が悪化し、最後に残っていた外国人に食料を作らせようとしたから。

ウ 敵国の襲撃が激しく、捕虜を傷つけないようにするため。

エ 神風が吹いて、とても交換船など出航できなかったから。

(7)「ルロイ先生はいつまでたっても優しかった」とあるが、この根本にある考え方についてふれた一続きの文を抜き出しなさい。

(8)「ルロイ修道士は…右の人さし指をぴんと立てた」とあるが、

これは私のどんな発言が対象か。二字で書き抜きなさい。

(9)「それよりも…謝りたい」とあるが、なぜこう会話を転換したのか。

次のア～エから適切なものを一つ考えて選び、記号で答えなさい。

ア 汽車の時間が押してきたため、食べるのは止めて会話を楽しみたかったから。

イ 自分に食欲がないことを悟られ、誤魔化そうと思ったから。

ウ 最初に私に回顧させ、楽しい思い出話で臨終を迎えたかったから。

エ 過去に自分がした仕打ちに対して贖罪し、未練なく天国へ行きたかったから。

(10)「ただしあの頃と違って、顔は笑っていた」とあるが、なぜ怒る意味の指言葉を使いながら笑ったのか。理由を40字以下で答えなさい。

(11)「冗談じゃないぞ、と思った」とあるが、私はルロイ修道士が会いにきたのは何のためだと思っていたからか。「〜ため。」に続くよう七字で書き抜きなさい。

(12)「さすがにそれははばかられ」とあるが、どういった思いではばかれたのか。

主語を明記して、35字以下で考えて答えなさい。

(13)「上川君はいけない運転手です」とあるが、この言葉と同様の意味が込められた動作を抜き出しなさい。

(14)「天使園で育った子が：父子二代で天使園に入ることはないんです」とある。

ところで、ここでは父子を「おやこ」と読ませるが、それはなぜか。

貴方の考えを、本文のプロファイリングに沿って書いてみなさい。(字数制限なし)

(15)「ルロイ修道士は少し赤くなって頭をかい」とあるが、なぜそうしたのか。

次のア、エから適切なものを一つ考えて選び、記号で答えなさい。

ア 死期が近いことを私に悟られ、決まり悪さを感じたから。

イ この質問に対する返答をどうするか、戸惑ってしまったから。

ウ かつての教え子に心配されて、立つ瀬がなくなってしまったから。

エ 今生の別れの前に核心を突かれ、未練の情が湧いたから。

(16)「ルロイ修道士の手を取って：激しく握った」とあるが、

この握手に込めた気持ちをもつづつ、それぞれ二字の熟語で答えなさい。

(17)「私は知らぬ間に：打ちつけていた」とあるが、何を対象としたものか。

二つあるうちの四字の方を書き抜きなさい。